

# 透析患者に対して、国保での、鉄含有製剤(リオナ・ピートル)とランタン含有製剤(ホスレノール)併用の処方についての陳情書

## 内容

この度、愛知県下の多くの透析患者の皆様より、(一社)愛知県腎臓病協議会(会員 7,059 名)に対しこれまで処方されていた鉄含有製剤(リオナ・ピートル)とランタン含有製剤(ホスレノール)のくすりが一緒に出なくなったため、リンの数値が下がらず大変困っているとの窮状を訴える問い合わせが数多く寄せられています。

是非これまで通り、鉄含有製剤(リオナ、ピートル)とランタン含有製剤(ホスレノール)のくすりを一緒に処方して頂きますよう、強くお願い申し上げます。

## 理由

透析患者にとってリンのコントロールはとても大変です。食事療法でリンの高い食品(肉や魚・卵・乳製品・豆類など、たんぱく質の多い食品、ハムやベーコン・ソーセージ、練り物、インスタントラーメンなどの加工製品)をなるべくとらないように心がけています。

しかし最近の透析は栄養分まで全部抜けてしまうので、良く食べて元気に透析を受けないといけません。透析導入者の平均年齢が約 70 才のため、食事療法でリンのコントロールをするのは難しいのが現状です。

透析患者の死因順位は第 1 位心不全 第 2 位感染症 3 位脳血管障害です。長く透析を続けていると心臓や血管に関わる死亡率が上がり、骨ももろく成ります。その大きな原因が血清リンの上昇と言われています。リンを低く保つことで心血管疾患・脳血管疾患や末梢動脈疾患などの合併症を防ぎ長く生きることが出来ます。

透析患者は週 3 回透析治療(平均 4 時間)を行うために自分の足で通院をしなければなりません。そのため、体調管理をして透析を受けねばならないにも関わらず、愛知県の一部の国保で鉄含有製剤とランタン含有製剤の同時使用が査定されているというのは、患者の立場からして看過できません。短期的には医療費を削減できたとしても、長い目で見れば得策ではありません。不適切な査定を中止することを強く望むものであります。

平成 31 年 2 月 5 日

〒461-0011 名古屋市東区白壁 1-50 愛知県白壁庁舎内  
一般社団法人 愛知県腎臓病協議会 代表理事 奥村 清高

